

# 水の山 富士山を語る

## ～富士山講演会～

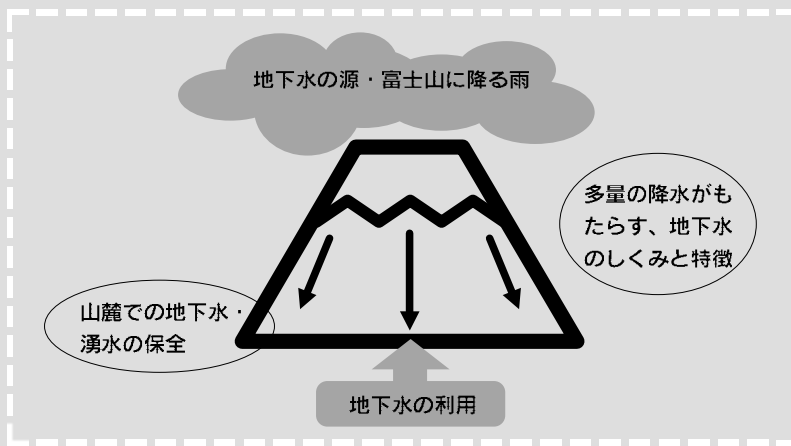
開催日時／平成14年11月17日(日) 13:00～16:00

開催場所／東部地域交流プラザ「パレット」2F

参加者／160名

開催趣旨

富士山の豊富な地下水の源・富士山に降る雨、富士山の地下水のしくみと特徴、山麓に湧き出した湧水の保全と利用について、これらに携わる7名のそれぞれの立場から、富士山の水の豊かさや特徴、水の恵みに関する講演をきくことにより、富士山をより身近な存在として感じてもらい、富士山の環境保全活動に多くの人達に参加してもらうため、私たちの生活に深い関わりをもつ「富士山の水」をテーマに富士山講演会を開催しました。



### ●講演では、

#### 富士山に降る雨、地下水について

- ・「富士山周辺地域では3000mm以上の雨が降る場所があります」(平井さん)
  - ・「富士山西麓の河川流量から推定して、富士山の全湧水量は、1日約529立方メートル、全降水量は年間約25億立方メートルにもものぼりませぬ」(土さん)
  - ・「富士山の中腹以上の降水は、10～15年かかって山麓に湧き出しています」(土さん)
  - ・「富士山周辺の地下水には高濃度のバナジウムが含まれています」(奥水さん)
- などの報告がありました。

#### 地下水の保全について

- ・「柿田川の湧水の保全への取り組みや湧水の現状」(漆畑さん)
- ・「節水と水源涵養、水質保全の重要性」(漆畑さん)についての報告がありました。

#### 地下水の利用について

- ・「ウイスキー等の製造にあたって、再利用による節水に取り組んでいることなど環境に配慮した企業の活動」(狩野さん)
- ・阿多野用水や水掛菜の歴史や現状、今後の課題 (喜多さん)
- ・「ニジマスの特徴や養殖方法」(青島さん) など富士山の水の恵みについての紹介があり、最後に事務局(静岡県環境森林部 横山技監)より「富士山の恵みを受け取るだけでなく、環境保全活動に多くの人たちが参加して欲しい、今後も皆様の協力を得ながら、ますます自主的な取り組みが推進されるようお願いいたします」と参加者へ呼びかけました。



平井 泰世さん  
(元富士山測候所長)  
「富士山に降る雨について」



土 隆一さん  
(静岡大学名誉教授)  
「富士山の地下水のしくみ」



奥水 達司さん  
(山梨県環境科学研究所地球科学研究室長)  
「富士山の地下水の特徴」



漆畑 信昭さん  
(財)柿田川みどりのトラスト会長)  
「富士山の地下水の保全」



狩野 住夫さん  
(キリンデイスティラリー(株) 御殿場工場 副工場長)  
「富士山の地下水の利用について」



喜多 淳隆さん  
(小山町)  
「阿多野用水と水掛菜について」



青島 秀治さん  
(静岡県水産試験場富士養鱒場主任)  
「静岡県のニジマス養殖について」



横山 澄夫さん  
(静岡県環境森林部技監)  
「まとめ」